

カーボンニュートラルに向けた森林管理と資源利用

再生可能資源の一つである森林資源は、樹種によっては数十年掛けて生産されるものであるが、素材やバイオマス原料・燃料として活用可能なものであり、太陽光や風力といった変動性再生可能エネルギーとは異なる特徴をもっている。森林を持続可能とし、適切な管理の下で資源を得るために、中長期的なビジョンに基づく施業が必要であり、ライフサイクル思考に基づく分析と計画が必須といえる。本企画セッションでは、森林と資源のライフサイクルにまつわる諸課題を整理し、持続可能な管理にむけて必要となる要素を抽出する。

発表予定件数：5人（10分×5人）+ディスカッション（30分）、

（住友林業株式会社より講演者）、森林事業の持続可能性と課題（仮）

加用千裕、東京農工大学、日本の森林吸収源の現状と課題

服部順昭、東京農工大学（名誉教授）、林業・林産における持続可能性と課題（仮）

小林謙介、県立広島大学、建築物からみた森林・資源の活用と持続可能性

小井土賢二、森林総合研究所、森林資源の小規模エネルギー利用技術における持続可能性
と課題

ディスカッション：（モデレータ） 東京大学 菊池康紀、兼松祐一郎

オーガナイザ：東京大学 菊池康紀 <ykikuchi@ifi.u-tokyo.ac.jp>